

環境経営レポート

2018年度

(活動期間 平成30年1月～平成30年12月)



株式会社 井関重信製作所

環境管理責任者 三宅 潤

作成：2019年 03月 28日

環境経営方針

基本理念

当社は重信川に面し、周囲を皿ヶ嶺連峰などの山々に囲まれた自然豊かな地に在り、農業機械などの製造工程において、地域の自然環境及び地球環境に配慮し、環境問題に全員参加で、自主的・積極的に取り組み、持続可能な循環型社会を目指し、以下の項目を継続的に改善して行くことを誓約します。

基本方針

1. 事業活動に関わる環境関連の法規、条例、及び当社が同意するその他の要求事項を遵守し、環境汚染を未然に防止します。
2. 環境経営目標・環境経営計画を立案し、環境負荷低減に取り組めます。またシステムの定期的見直しを実施します。
3. 環境負荷の低減や環境改善を図るため、次の事項に重点的に取り組めます。
 - ① CO₂ 排出量を削減する。
 - ・省エネの推進(節電、エコドライブ、他)
 - ・省資源の推進(ガソリン、灯油、軽油、他)
 - ② 廃棄物の削減と資源リサイクルを推進する。
 - ③ 節水を推進し、水使用量を削減する。
 - ④ 化学物質使用量の削減を進める。
 - ⑤ グリーン購入を推進する。
 - ⑥ 当社が生産する製品及びその生産工程の中で環境に配慮した取組を進める。
4. この環境経営方針を全従業員に周知し、環境教育を通じて環境問題への意識向上を図ります。
5. 環境への取組みを「環境経営レポート」としてまとめ公開します。

制定日：2014年 6月 24日

改定日：2015年 6月 10日

改定日：2016年 12月 21日

改定日：2017年 10月 23日

改定日：2018年 10月 9日

株式会社 井関重信製作所

代表取締役社長 遠藤博

会社概要

- 1. 会社名及び代表者氏名 株式会社 井関重信製作所
代表取締役社長 遠藤 博
- 2. 所在地 〒791-0212
愛媛県東温市田窪660-3
- 3. 環境管理責任者
及び担当者連絡先 責任者 生産技術部長 三宅 潤
TEL 089-907-6166
FAX 089-907-2772
E-Mail miyake.s@iseki.co.jp
担当者 生産技術部 松浦 郁夫
E-Mail matsuura.s@iseki.co.jp
- 4. 事業内容 農業機械の製造

5. 事業規模

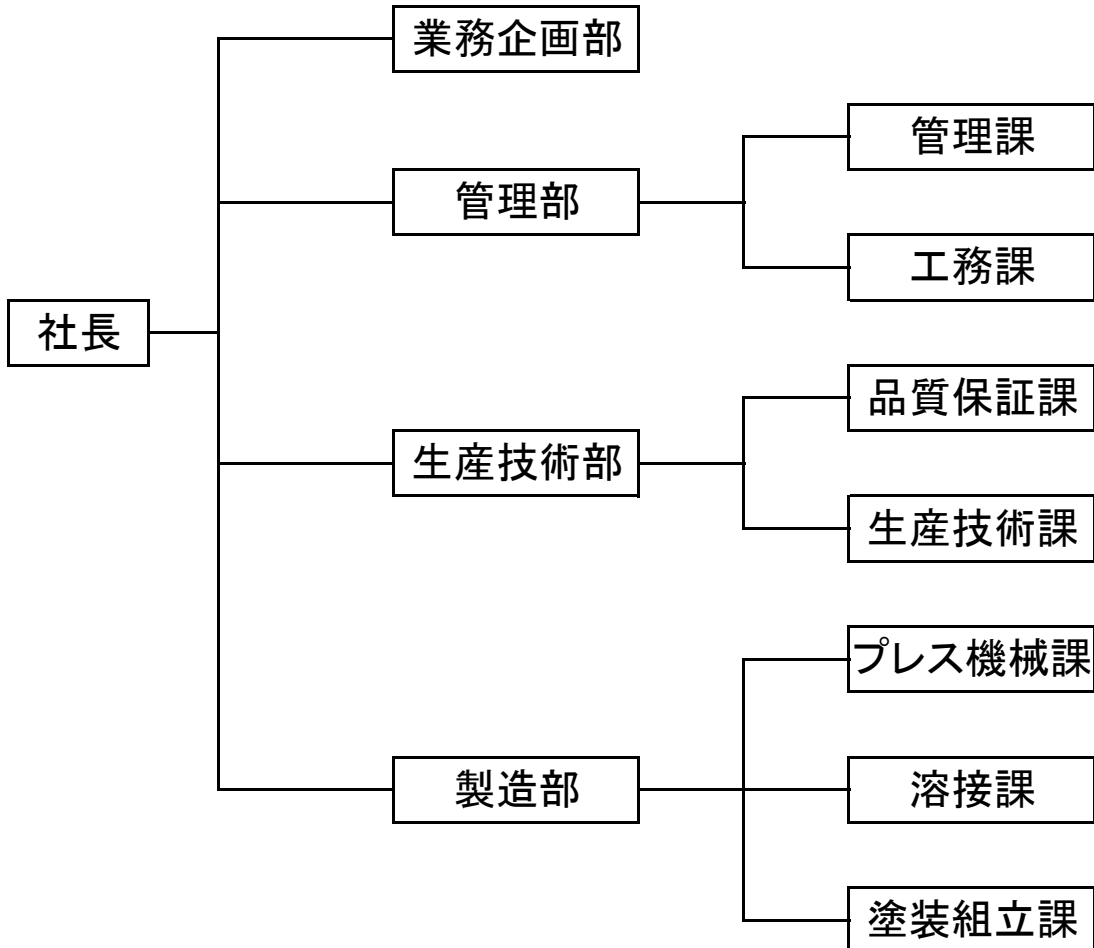
活動規模	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
生産高	億円	29.66	28.96	30.52	34.73	29.75	30.43
従業員数	人	175	169	174	180	179	182
床面積(合計)	m ²	13,400	13,400	13,400	13,400	13,400	13,400

6. 会社設立年月日 平成 24年12月 4日

7. 資本金 8,000万円

8. 組織図及び認証・登録範囲

(注) 認証・登録範囲は当社の全組織・全活動とする。当社全組織を下記に示す。



環境目標とその実績

当社は2013年度一年間の実績を基準とし、2014年度～2019年度の6年間は毎年、生産高当り(原単位)の二酸化炭素排出量を1.57%ずつ、廃棄物排出量、水使用量及び化学物質使用量を2%ずつ、総物質投入量を1.5%ずつ削減して行くことを目標として活動します。

項目		年度	2013年度	2016年度		2017年度		2018年度		2019年度	
		基準値	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標		
生産高	億円/年		29.66	-	34.73	-	29.75	-	30.43	-	
	製品出荷数量	総量(トン/年)	3205.6	-	3,462.8	-	2,859.3	-	2,671.6	-	
CO ₂ 排出量		総量(トン/年)	3126.0	-	3087.0	-	2,791.9	-	2,533.2	-	
		原単位(トン/億円)	105.4	100.4	88.9	98.8	93.9	97.1	83.2	95.5	
		原単位での削減率	-	4.7% 減	15.7% 減	6.3% 減	10.9% 減	7.9% 減	21.0% 減	9.5% 減	
CO ₂ 内訳	電力	総量(トン/年)	1926.3	-	1874.5	-	1715.9	-	1669.2	-	
		原単位(トン/億円)	64.9	-	54.0	-	57.7	-	54.9	-	
	灯油	総量(トン/年)	1131.3	-	1188.9	-	1053.3	-	845.6	-	
		原単位(トン/億円)	38.1	-	34.2	-	35.4	-	27.8	-	
	LPG他	総量(トン/年)	26.0	-	1.5	-	1.4	-	1.6	-	
		原単位(トン/億円)	0.9	-	0.0	-	0.0	-	0.1	-	
	ガソリン	総量(トン/年)	11.3	-	10.8	-	10.2	-	12.5	-	
		原単位(トン/億円)	0.4	-	0.3	-	0.3	-	0.4	-	
	軽油	総量(トン/年)	31.1	-	11.3	-	11.2	-	4.3	-	
		原単位(トン/億円)	1.0	-	0.3	-	0.4	-	0.1	-	
	廃棄物排出量 (最終処分量)		総量(トン/年)	144.87	-	76.71	-	79.45	-	126.28	-
			原単位(トン/億円)	4.88	4.59	2.21	4.49	2.67	4.40	4.15	4.30
		原単位での削減率	-	6% 減	54.7% 減	8% 減	45.3% 減	10% 減	15.0% 減	12% 減	
一般廃棄物	総量(トン/年)	0.59	-	0.14	-	0.17	-	0.12	-		
	産業廃棄物	総量(トン/年)	144.28	-	76.57	-	79.28	-	126.16	-	
水使用量		総量(m ³ /年)	40717	-	13,094	-	15,556	-	12,338	-	
		原単位(m ³ /億円)	1373	1290	377	1263	523	1236	405	1208	
		原単位での削減率	-	6% 減	72.5% 減	8% 減	61.9% 減	10% 減	70.5% 減	12% 減	
化学物質使用量		総量(トン/年)	28.38	-	27.01	-	23.97	-	21.06	-	
		原単位(トン/億円)	0.957	0.899	0.778	0.880	0.806	0.861	0.692	0.842	
		原単位での削減率	-	6% 減	18.7% 減	8% 減	15.8% 減	10% 減	27.7% 減	12% 減	
CO ₂ 内訳	エチルベンゼン	総量(トン/年)	9.80	-	9.73	-	8.73	-	7.55	-	
		原単位(トン/億円)	0.331	0.311	0.280	0.304	0.293	0.297	0.248		
	キシレン	総量(トン/年)	11.10	-	10.57	-	9.48	-	8.26	-	
		原単位(トン/億円)	0.374	0.352	0.304	0.344	0.319	0.337	0.271		
	トルエン	総量(トン/年)	5.71	-	5.07	-	4.25	-	4.07	-	
		原単位(トン/億円)	0.192	0.181	0.146	0.177	0.143	0.173	0.134		
その他	総量(トン/年)	1.77	-	1.65	-	1.51	-	1.19	-		
	原単位(トン/億円)	0.060	0.056	0.047	0.055	0.051	0.054	0.039			
総物質投入量		総量(トン/年)	4,058.9	-	4,375.1	-	3,738.6	-	3,627.5	-	
		原単位(トン/億円)	136.85	130.69	125.96	128.64	125.68	126.59	119.21	124.53	
		原単位での削減率	-	4.5% 減	8.0% 減	6% 減	8.2% 減	7.5% 減	12.9% 減	9% 減	

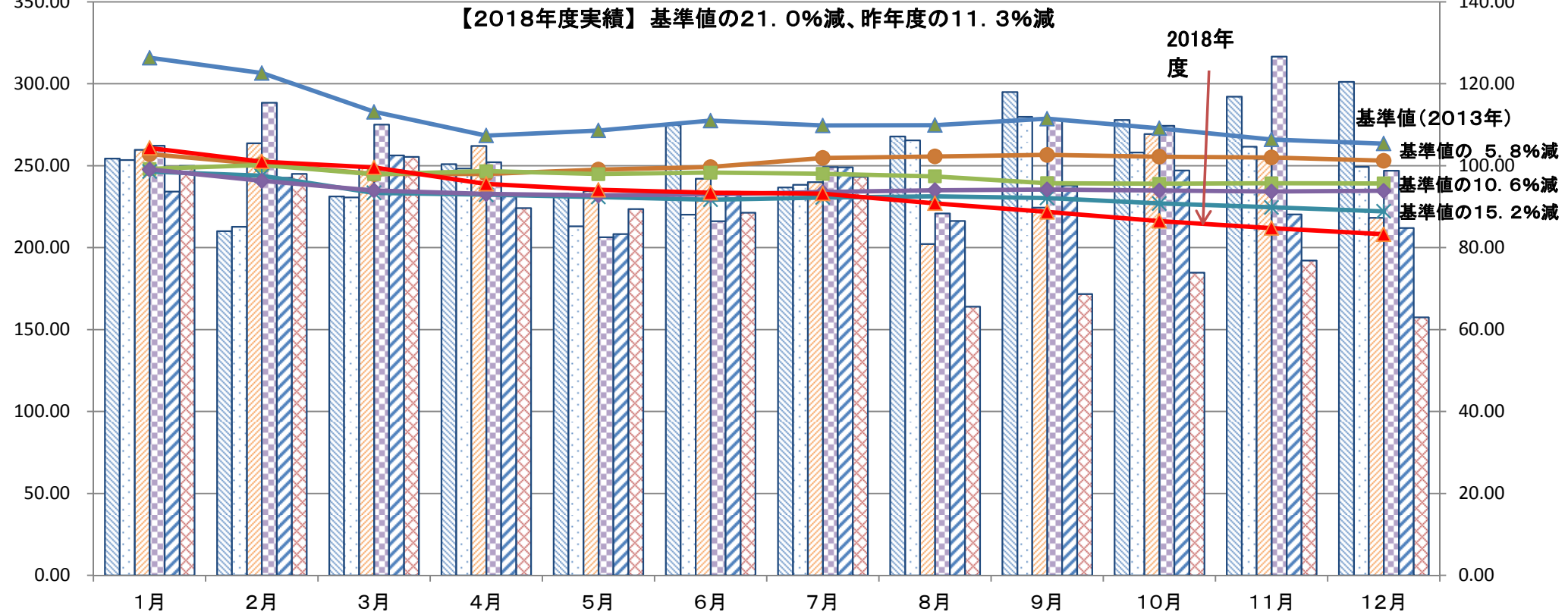
※1. 四国電力(株)からの購買電力のCO₂排出係数は平成24年度の実排出係数0.700kg-CO₂/kwhを採用した。

※2. 当初の目標は各項目とも、「毎年、基準値の1%ずつ削減する」であったが、グループ全体の目標に整合するよう改訂した。

CO₂排出量削減(目標:7.85%削減)

項目	月別	2018年												合計	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
一酸化炭素排出量	2013年CO ₂ 排出量	254.49	210.14	231.30	251.04	233.03	274.80	236.82	267.91	295.09	277.96	292.17	301.24	3,125.99	t-CO ₂
	2013年CO ₂ 累計原単位	126.36	122.61	113.13	107.34	108.60	111.00	109.82	109.91	111.46	109.14	106.40	105.40	105.40	t-CO ₃ /億円
	2014年CO ₂ 排出量	253.46	212.77	230.78	248.42	213.01	220.22	238.39	265.61	279.88	258.16	261.66	249.38	2,931.73	t-CO ₂
	2014年CO ₂ 累計原単位	102.82	100.39	97.95	97.98	99.05	99.68	101.91	102.26	102.63	102.19	102.01	101.23	101.23	t-CO ₃ /億円
	2015年CO ₂ 排出量	259.70	263.69	249.41	262.07	234.52	242.16	240.04	202.30	224.55	269.45	254.31	218.22	2,920.44	t-CO ₂
	2015年CO ₂ 累計原単位	99.21	100.16	97.94	98.66	97.95	98.32	98.03	97.39	95.75	95.58	95.70	95.68	95.68	t-CO ₃ /億円
	2016年CO ₂ 排出量	262.24	288.55	275.22	252.17	206.44	216.24	249.21	220.97	277.89	274.47	316.63	246.94	3,086.98	t-CO ₂
	2016年CO ₂ 累計原単位	98.59	97.53	93.37	92.93	92.35	91.72	92.24	92.52	92.11	90.79	89.85	88.88	88.88	t-CO ₃ /億円
	2017年CO ₂ 排出量	234.27	242.75	256.37	233.14	208.30	234.16	249.07	216.41	237.95	247.21	220.33	211.97	2,791.93	t-CO ₂
	2017年CO ₂ 累計原単位	99.09	96.31	93.95	93.10	92.75	92.98	93.57	94.03	94.20	93.94	93.69	93.86	93.86	t-CO ₃ /億円
	2018年CO ₂ 排出量	249.94	245.11	255.51	224.13	223.58	221.39	243.35	163.99	171.73	184.74	192.23	157.45	2,533.14	t-CO ₂
	2018年CO ₂ 累計原単位	104.32	101.02	99.57	95.56	94.10	93.41	93.20	90.83	88.71	86.48	84.76	83.25	83.25	t-CO ₃ /億円

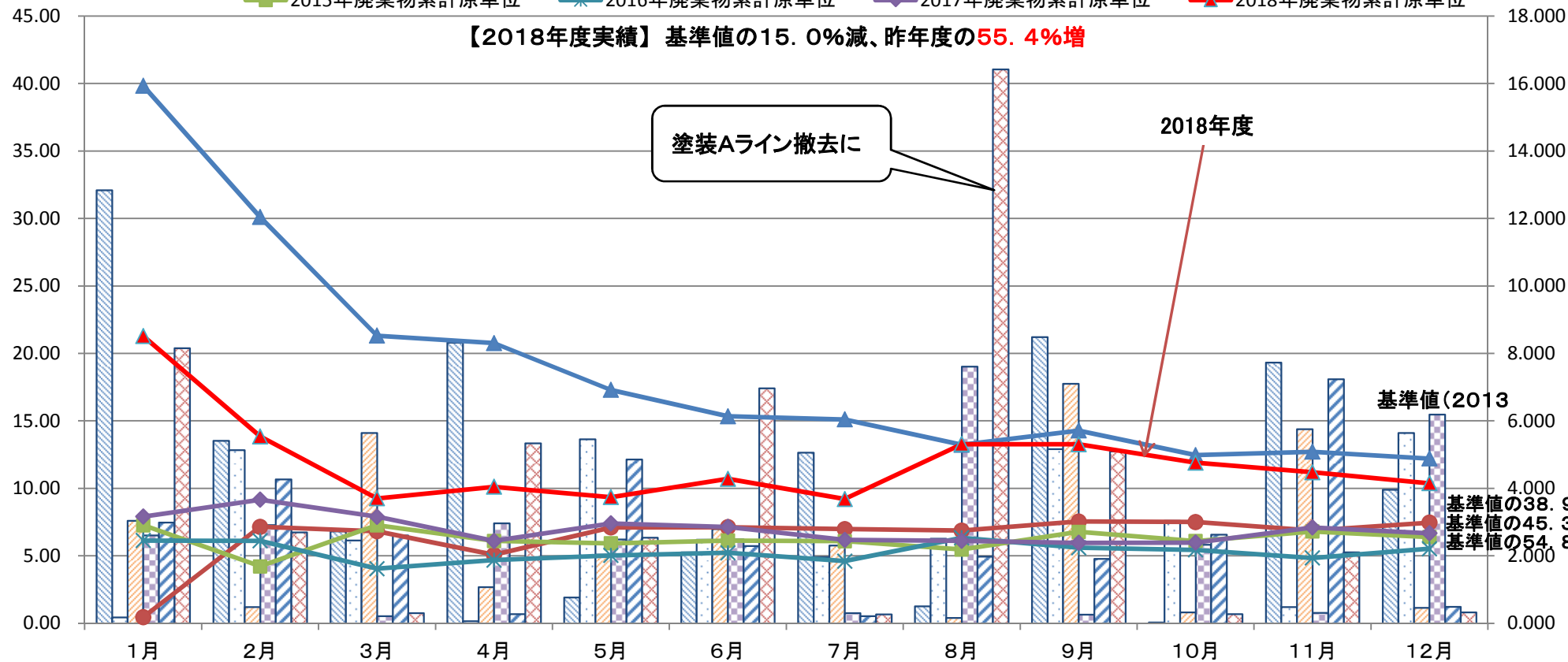
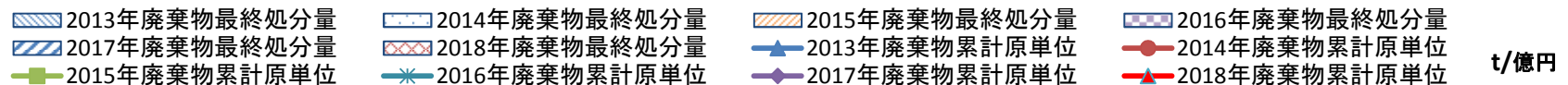
CO₂排出量



廃棄物排出量削減(目標:10%削減)

項目	2018年												合計	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
2013年廃棄物最終処分量	32.10	13.53	6.82	20.81	1.91	5.27	12.65	1.27	21.21	0.07	19.34	9.90	144.87	t
2013年廃棄物累計原単位	15.936	12.040	8.526	8.305	6.919	6.138	6.044	5.293	5.713	4.983	5.084	4.885	4.885	t/億円
2014年廃棄物最終処分量	0.44	12.83	6.14	0.16	13.64	6.21	4.92	6.27	12.92	7.61	1.21	14.10	86.46	t
2014年廃棄物累計原単位	0.179	2.858	2.729	2.029	2.840	2.851	2.795	2.750	3.016	3.004	2.752	2.985	2.985	t/億円
2015年廃棄物最終処分量	7.61	1.21	14.11	2.69	5.09	6.99	5.77	0.41	17.77	0.83	14.40	1.16	78.03	t
2015年廃棄物累計原単位	2.905	1.687	2.905	2.442	2.370	2.452	2.433	2.188	2.710	2.439	2.723	2.557	2.557	t/億円
2016年廃棄物最終処分量	6.52	7.28	0.53	7.42	6.22	6.24	0.76	19.03	0.64	5.82	0.78	15.47	76.71	t
2016年廃棄物累計原単位	2.452	2.444	1.620	1.875	2.011	2.090	1.843	2.535	2.238	2.175	1.937	2.208	2.208	t/億円
2017年廃棄物最終処分量	7.48	10.68	6.51	0.69	12.16	5.74	0.54	4.95	4.79	6.58	18.10	1.24	79.45	t
2017年廃棄物累計原単位	3.163	3.666	3.160	2.443	2.962	2.855	2.472	2.445	2.387	2.393	2.840	2.671	2.671	t/億円
2018年廃棄物最終処分量	20.40	6.74	0.77	13.34	6.36	17.43	0.67	41.05	12.74	0.69	5.27	0.82	126.28	t
2018年廃棄物累計原単位	8.515	5.539	3.703	4.045	3.739	4.280	3.683	5.308	5.305	4.761	4.476	4.150	4.150	t/億円

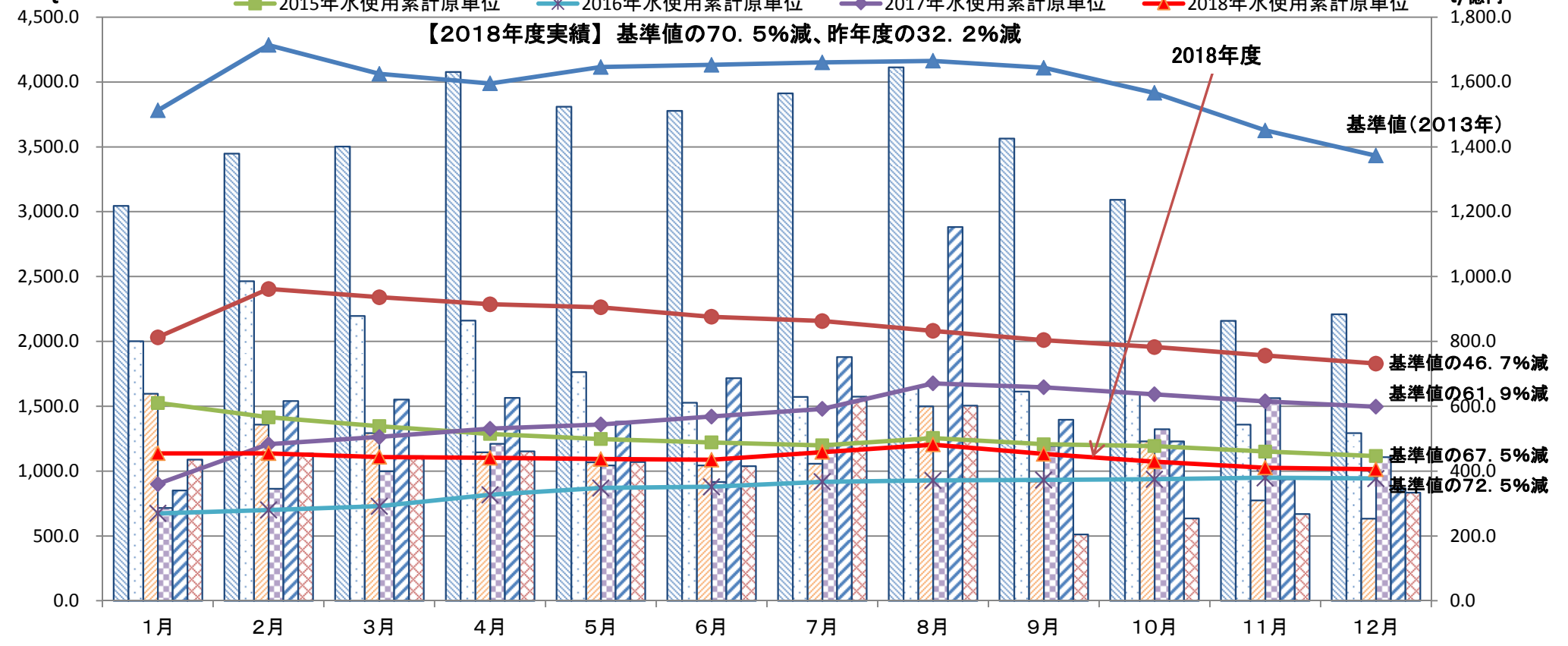
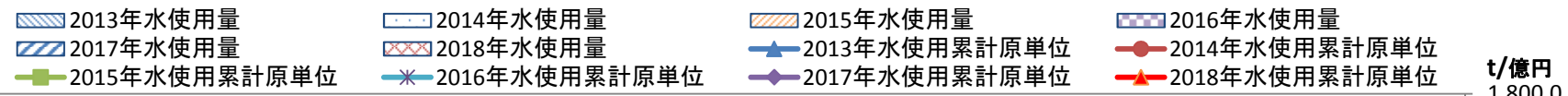
廃棄物排出量



水使用量削減(目標:10%削減)

項目	月別	2018年												合計	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
水 使 用 量	2013年水使用量	3,046.2	3,448.6	3,502.6	4,077.5	3,810.9	3,778.2	3,912.9	4,113.3	3,565.7	3,093.3	2,158.6	2,209.5	40,717.3	t
	2013年水使用累計原単位	1,512.5	1,713.9	1,625.2	1,595.4	1,646.1	1,653.0	1,660.5	1,665.4	1,644.0	1,566.5	1,450.5	1,372.8	1,372.8	t/億円
	2014年水使用量	2,002.8	2,464.1	2,196.1	2,161.8	1,763.9	1,527.0	1,572.2	1,636.6	1,613.4	1,597.3	1,359.5	1,294.2	21,188.8	t
	2014年水使用累計原単位	812.4	961.8	936.4	914.5	905.3	876.0	862.6	832.4	803.9	782.5	756.6	731.6	731.6	t/億円
	2015年水使用量	1,597.3	1,359.5	1,294.2	1,146.5	1,069.2	1,044.8	1,056.8	1,499.2	920.0	1,229.7	775.4	634.5	13,627.1	t
	2015年水使用累計原単位	610.2	565.8	538.7	514.6	499.0	488.6	479.5	501.8	482.9	477.0	460.1	446.5	446.5	t/億円
	2016年水使用量	716.5	864.1	999.0	1,211.8	1,045.2	916.4	1,211.2	939.6	1,194.4	1,324.2	1,563.7	1,107.8	13,093.9	t
	2016年水使用累計原単位	269.3	279.9	291.6	326.8	347.7	351.6	367.1	371.0	372.6	375.0	379.2	377.0	377.0	t/億円
	2017年水使用量	850.9	1,541.1	1,552.4	1,564.9	1,381.5	1,717.7	1,880.0	2,882.5	1,396.0	1,230.6	937.8	869.1	17,804.2	t
	2017年水使用累計原単位	359.9	482.9	505.3	530.7	544.0	568.1	591.9	670.7	658.5	636.9	615.0	598.5	598.5	t/億円
	2018年水使用量	1,089.8	1,137.9	1,115.6	1,153.8	1,070.3	1,039.3	1,574.0	1,505.9	511.5	635.9	670.1	833.9	12,337.9	t
	2018年水使用累計原単位	454.9	454.6	443.5	440.9	437.2	434.7	458.5	481.6	452.6	429.1	410.4	405.5	405.5	t/億円

水使用量

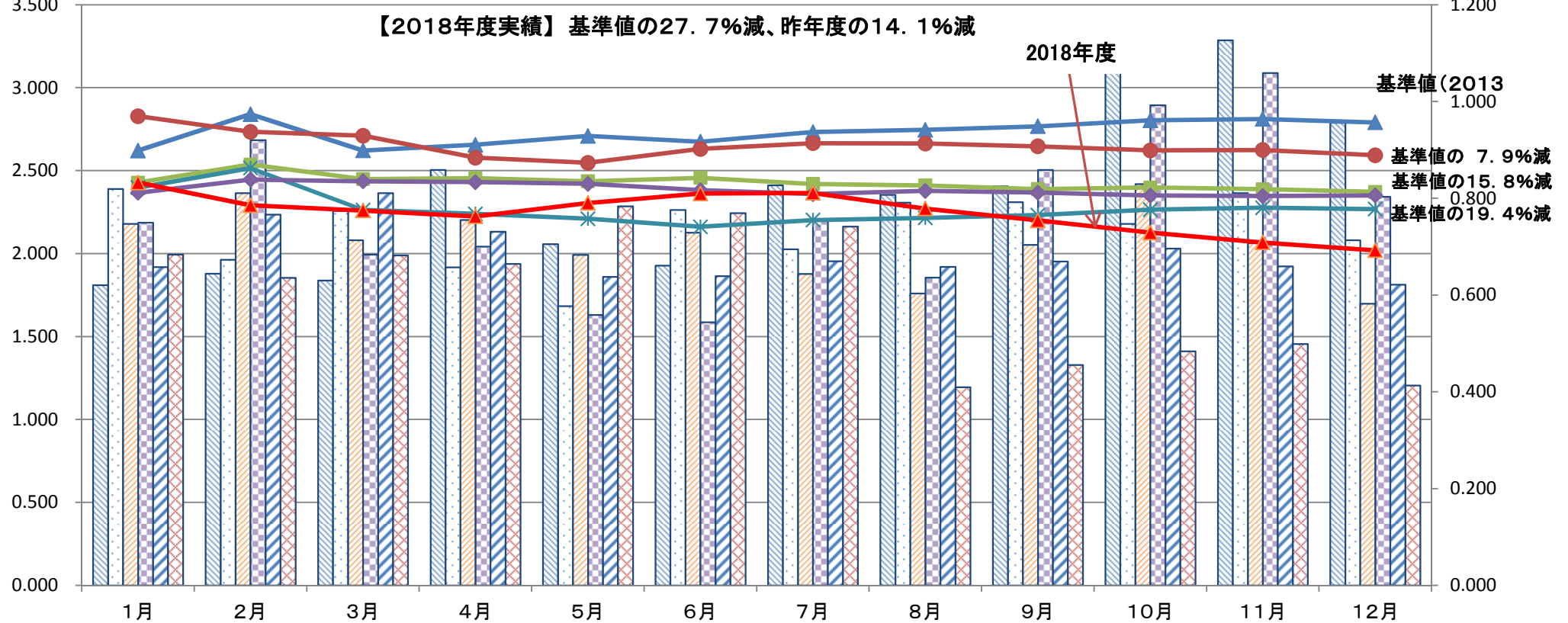


化学物質使用量削減(目標:10%削減)

項目	月別	2018年												合計	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
化学物質使用量	2013年化学物質使用量	1.810	1.879	1.839	2.505	2.058	1.927	2.412	2.354	2.405	3.112	3.286	2.789	28.376	t
	2013年化学物質累計原単位	0.899	0.974	0.899	0.911	0.929	0.917	0.937	0.941	0.949	0.961	0.964	0.957	0.957	t/億円
	2014年化学物質使用量	2.390	1.963	2.258	1.917	1.684	2.263	2.026	2.307	2.310	2.179	2.365	2.081	25.743	t
	2014年化学物質累計原単位	0.970	0.937	0.929	0.884	0.873	0.902	0.914	0.913	0.907	0.899	0.900	0.889	0.889	t/億円
	2015年化学物質使用量	2.179	2.365	2.081	2.204	1.993	2.126	1.877	1.759	2.053	2.420	2.063	1.699	24.818	t
	2015年化学物質累計原単位	0.832	0.870	0.840	0.842	0.835	0.842	0.830	0.827	0.819	0.822	0.819	0.813	0.813	t/億円
	2016年化学物質使用量	2.187	2.684	1.994	2.043	1.631	1.587	2.199	1.855	2.504	2.895	3.089	2.342	27.009	t
	2016年化学物質累計原単位	0.822	0.862	0.776	0.768	0.758	0.741	0.755	0.760	0.765	0.776	0.780	0.778	0.778	t/億円
	2017年化学物質使用量	1.918	2.236	2.364	2.132	1.860	1.864	1.954	1.921	1.953	2.030	1.923	1.813	23.968	t
	2017年化学物質累計原単位	0.811	0.839	0.835	0.833	0.830	0.817	0.809	0.815	0.812	0.805	0.805	0.806	0.806	t/億円
	2018年化学物質使用量	1.994	1.855	1.989	1.938	2.285	2.244	2.163	1.195	1.329	1.411	1.455	1.206	21.064	t
	2018年化学物質累計原単位	0.832	0.785	0.774	0.762	0.790	0.810	0.811	0.779	0.754	0.729	0.708	0.692	0.692	t/億円

化学物質使用量

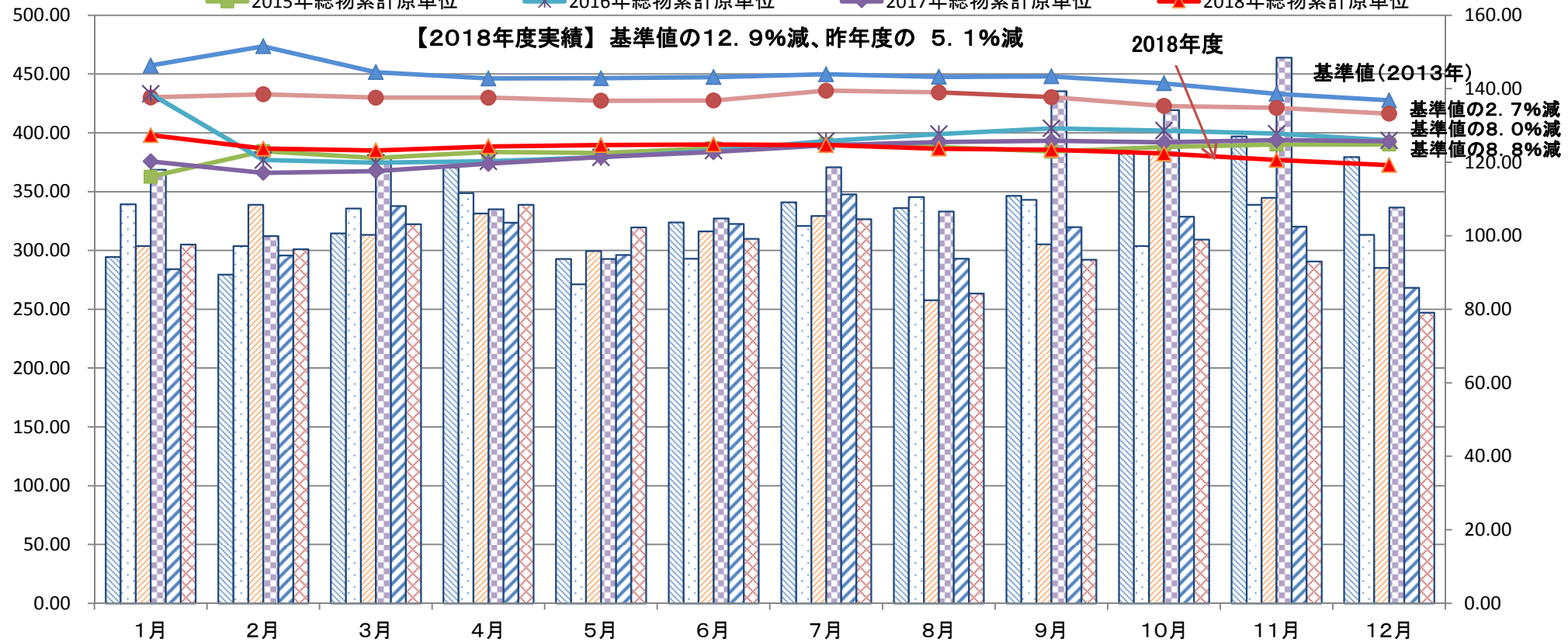
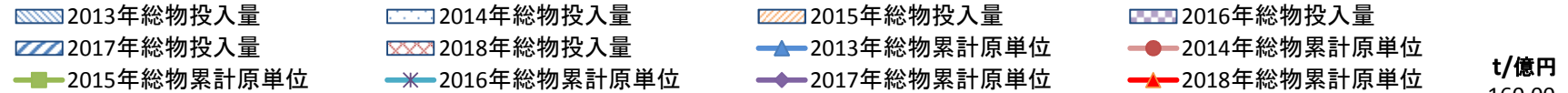
- 2013年化学物質使用量 (斜線)
- 2014年化学物質使用量 (点線)
- 2015年化学物質使用量 (斜線)
- 2016年化学物質使用量 (格子)
- 2017年化学物質使用量 (斜線)
- 2018年化学物質使用量 (斜線)
- 2013年化学物質累計原単位 (青三角)
- 2014年化学物質累計原単位 (赤丸)
- 2015年化学物質累計原単位 (緑四角)
- 2016年化学物質累計原単位 (水色星)
- 2017年化学物質累計原単位 (紫五角)
- 2018年化学物質累計原単位 (赤三角)



総物投入量削減(目標: 7.5%削減)

項目	2018年												合計	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
2013年総物投入量	294.65	279.56	314.66	370.64	292.79	323.90	341.02	336.22	346.56	382.47	396.95	379.52	4,058.94	t
2013年総物累計原単位	146.30	151.53	144.50	142.77	142.86	143.15	143.94	143.23	143.36	141.46	138.59	136.85	136.85	t/億円
2014年総物投入量	339.29	303.88	335.72	348.82	271.39	292.99	320.95	345.56	343.09	303.82	338.98	313.36	3,857.85	t
2014年総物累計原単位	137.63	138.49	137.57	137.59	136.72	136.80	139.47	138.98	137.71	135.32	134.79	133.21	133.21	t/億円
2015年総物投入量	303.82	338.98	313.36	331.59	299.67	316.29	329.37	257.81	305.30	383.70	344.73	285.33	3,809.94	t
2015年総物累計原単位	116.07	123.01	121.17	122.77	122.49	123.82	124.97	124.16	122.90	124.16	124.82	124.83	124.83	t/億円
2016年総物投入量	368.73	312.39	379.17	335.11	292.83	327.40	370.78	333.18	435.53	419.34	463.99	336.69	4,375.14	t
2016年総物累計原単位	138.62	120.61	119.85	120.27	121.36	123.17	125.79	127.66	129.23	128.61	127.77	125.96	125.96	t/億円
2017年総物投入量	284.28	295.84	337.76	323.79	296.14	322.62	347.71	293.13	319.99	328.77	320.28	268.30	3,738.60	t
2017年総物累計原単位	120.25	117.12	117.58	119.61	121.40	122.77	124.61	125.47	125.80	125.41	126.03	125.68	125.68	t/億円
2018年総物投入量	305.16	301.15	322.51	338.91	319.74	310.01	326.75	263.47	292.27	309.40	290.85	247.27	3,627.49	t
2018年総物累計原単位	127.36	123.72	123.21	124.29	124.66	124.85	124.65	123.68	123.39	122.36	120.60	119.21	119.21	t/億円

総物投入量



環境活動計画の内容と評価

当社は2013年度一年間の実績を基準とし、2014年度～2019年度の6年間は毎年、生産高当り(原単位)の二酸化炭素排出量を1.57%ずつ、廃棄物排出量、水使用量及び化学物質使用量を2%ずつ、総物質投入量を1.5%ずつ削減して行くことを目標として活動しました。

またグリーン購入の推進については、事務用品のグリーン購入比率目標を75%以上として活動しました。

◎・・・よくできた

○・・・まずまず出来た

×・・・出来ていない

1. 二酸化炭素排出量の削減 目標:基準値の7.9%削減

内容		増減	評価	コメント
電力	・不在時の消灯の徹底	基準値の 21.0%削減	◎	よく出来ている(習慣化しつつある)
	・インバータ付モータへの切り替え		◎	大容量のモータは、切り替え完了した
	・エアコンのフィルタの定期的な清掃		◎	よく出来ている
	・冷暖房の適正温度管理(夏・・・28℃、冬・・・23℃)		◎	よく出来ている
灯油	・塗装ラインの稼働時間の短縮		○	技量向上で、さらなる時間短縮をする
	・エアコンプレッサの排熱を利用する		◎	よく出来ている
	・乾燥炉の温度管理をこまめに行なう		◎	よく出来ている
軽油他	・エコドライブの周知と推進		◎	よく出来ている
	・アイドリングストップを周知徹底する		◎	よく出来ている
	・フォークリフトの電動式への切り替え		◎	2018年度も1台電動式に切り替えた

2. 廃棄物排出量の削減 目標:基準値の10%削減

内容		増減	評価	コメント
・両面コピーの徹底	基準値の 15.0%削減	◎	よく出来ている	
・使用済み封筒の再利用		◎	よく出来ている	
・使用済み紙のメモ等への再利用		◎	よく出来ている	
・運送板パレットの再利用		◎	よく出来ている	
・使用済み袋(PP袋等)の再利用		○	ごみ袋として再利用	

3. 水使用量の削減 目標:基準値の10%削減

内容		増減	評価	コメント
・スポット溶接機の冷却水を循環式にする	基準値の 70.5%削減	◎	よく出来ている(効果が大きい)	
・トイレ(小)の自動水洗設備への更新		○	今後、1回の水量を改善する	
・水道配管からの漏水の点検		◎	よく出来ている	

4. 化学物質使用量の削減 目標:基準値の10%削減

内容		増減	評価	コメント
・塗装ハンガーを改善し塗装効率を上げる	基準値の 27.7%削減	◎	よく出来ている	
・生産順位を検討し色替えの洗浄用シンナーを削減		○	今後、色替え回数を削減する	
・塗装不良を削減し再塗装を避ける		◎	よく出来ている	

5. 総物質投入量の削減 目標:基準値の7.5%削減

内容		増減	評価	コメント
・2次元レーザー加工の材料歩留まりを改善する	基準値の 12.9%削減	◎	よく出来ている	
・タレパン加工の材料歩留まりを改善する		◎	よく出来ている	
・スクラップを資源として再利用する		◎	よく出来ている	

環境活動の取り組み結果の評価まとめ

今回の取り組み結果は、「今後6年間は毎年、生産高当り(原単位)の二酸化炭素排出量を基準値の1.57%ずつ、廃棄物排出量、水使用量及び化学物質使用量を基準値の2%ずつ、総物質投入量を1.5%ずつ削減する」という目標を、大幅に上まわる良い結果になりました。

またグリーン購入推進についても十分な成果が生まれました。

・二酸化炭素排出量 目標:基準値の7.9%削減について

活動5年目で、二酸化炭素排出量を21.0%削減という、とても良い結果が得られたのは、全従業員が一丸となって取り組んだ成果であると確信していますが、6年目になる2019年度は周囲の状況も厳しくなると予測されるので、この状態を維持するためには気持ちを引き締めて、より一層の努力が必要となります。

・廃棄物排出量 目標:基準値の10%削減について

廃棄物排出量も5年間で15.0%の削減という良い結果が得られたのは、全従業員一人ひとりがゴミの分別に真摯に取り組む、廃棄物の削減に繋がった結果ですが、2019年度さらに削減するためには3R (Reduce, Reuse, Recycle) の重要性を再認識し、更なる取り組みが必要になります。

・水使用量 目標:基準値の10%削減について

水使用量は5年間で70.5%の削減という、とてつもなく大きな成果が得られたのは、従来の地下配管を地上配管に変更し、見えていなかった水漏れが確実に防止できたためです。

・化学物質使用量 目標:基準値の10%削減について

5年間で27.7%の削減という結果は、塗装ハンガーの改善に伴う塗装効率の向上により、塗料・シンナーの使用量を削減できたことが大きな要因であり、今年度もこうした地道な改善を継続して行くことが、削減目標を達成することに繋がります。

・総物質投入量 目標:基準値の7.5%削減について

5年間で12.9%の削減という結果は、レーザー・タレパンの加工工程における材料歩留まりの改善が、非常に大きな効果を生み出したものと判断します。

・グリーン購入推進 目標:事務用品のグリーン購入比率75%以上

2018年度は事務用品を年間で総額725,397円購入し、その内の664,727円がグリーン商品であり、グリーン購入比率は91.6%と目標を達成しました。これも全従業員が一丸となって取り組んだ成果だと判断します。

2019年度の取組み内容

昨年に引き続き、「二酸化炭素排出量・廃棄物排出量・水使用量・化学物質使用量・総物質投入量」の5項及びグリーン購入について、更なる削減と新たな内容も追加して取り組みます。

1. 二酸化炭素排出量の削減 目標:基準値の9.5%削減

	内容	目標	評価	コメント
電力	・不在時の消灯を周知徹底する	0.1%減		
	・エアコンのフィルタを定期的に清掃する	0.1%減		
	・工場内エア配管のエア漏れを削減する	0.1%減		
	・機械設備の削減(高稼働率設備へ集約する)	0.1%減		
	・ボイラーの省エネタイプへの更新を図る	0.7%減		

L P G	・塗装ラインの稼働時間を短縮する	0.1%減		
	・乾燥炉バーナーを省エネタイプへ切り替える	0.1%減		
	・ボイラーのドレン回収装置を追加する	0.5%減		
軽 油 他	・エコドライブを継続して推進する	0.05%減		
	・アイドリングストップを継続して推進する	0.05%減		
	・フォークリフトの電動式への切り替えを進める	0.1%減		
目標削減率合計		2.0%減		

2. 廃棄物排出量の削減 目標:基準値の12%削減について

内容	目標	評価	コメント
・両面コピーの徹底	0.1%減		
・使用済み封筒の再利用	0.1%減		
・使用済み紙のメモ等への再利用	0.1%減		
・電子メール/データの有効利用により紙を削減する	0.1%減		
・塗装ブース水の管理を徹底し、廃アルカリを削減する	0.8%減		
・塗装洗浄水スラジの管理を徹底し、汚泥を削減する	0.4%減		
・木製板パレットを再利用し、木くず排出量を削減する	0.4%減		
目標削減率合計	2.0%減		

3. 水使用量の削減 目標:基準値の12%削減について

内容	目標	評価	コメント
・乾燥炉ファン冷却水を再利用し、排水量を削減する	0.5%減		
・トイレの自動水洗パターンを変更し、排水量を削減する	0.1%減		
・緑地の散水配管に量水器を付け、工業用水と区別する	0.3%減		
・ボイラー水蒸気のドレンを再利用し、洗浄水を削減する	1.0%減		
・工業用水配管のバルブを点検し、漏水を削減する	0.1%減		
目標削減率合計	2.0%減		

4. 化学物質使用量の削減 目標:基準値の12%削減 目標:昨年実績に対する削減率

内容	目標	評価	コメント
・塗装ハンガーを改善し塗装効率を上げる	0.5%減		
・生産順位を検討し色替えの洗浄用シンナーを削減	0.1%減		
・特定化学物質含有量の少ない塗料を選定する	0.1%減		
・塗装不良を削減し再塗装を避ける	0.3%減		
・脱脂用シンナーを化学物質を含まない洗剤に替える	1.0%減		
目標削減率合計	2.0%減		

5. 総物質投入量の削減 目標:基準値の9%削減について

内容	目標	評価	コメント
・2次元レーザー加工の材料歩留まりを改善する	0.5%減		
・タレパン加工の材料歩留まりを改善する	0.5%減		
・スクラップを資源として再利用する	0.5%減		
目標削減率合計	1.5%減		

6. 上記2019年度の活動計画に加え下記に取り組みます。

- ①業務効率に向けて、1件/人・年以上の環境に関する改善提案を行ないます。
- ②省エネに向け、省エネ機器の更新時期を早めるよう検討します。

環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価結果

適用される法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

◎・・・よくできた

○・・・まずまず

×・・・出来ていない

適用される法規制	適用される施設等	評価結果
大気汚染防止法	愛媛県公害防止条例による規制	◎
大気汚染に関する県条例	塗装A・Bライン乾燥炉バーナー、蒸気ボイラー排ガス測定	◎
水質汚濁防止法	工場排出水水質検査	◎
瀬戸内海環境保全特別措置法	排出水量が1日50立方メートル未満のため適用外	◎
廃棄物処理法	廃棄物適正処理, マニフェスト保存	◎
浄化槽法	設備設置届出, 維持, 運用, 外部機関設備点検, 水質検査(1/年)	◎
毒物及び劇物取締法	劇物(苛性ソーダ)の表示と適正管理	◎
労働安全衛生法	労働災害を防止し、労働者の安全と健康を確保する	◎
有機溶剤中毒予防規則	局所排気装置点検(1/年), 有機溶剤作業主任者選任	◎
粉じん障害予防規則	粉じんにさらされる労働者の健康障害の防止	◎
PRTR法	特定化学物質の使用量を毎年報告(1t以上/年)	◎
工場立地法	緑地面積の割合が適切に守られているか	◎

環境関連法規制等の違反、訴訟の有無

環境関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、環境法規等の逸脱はありませんでした。

また、過去5年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

内部環境監査

内部環境監査を年に2回実施していますが、以前は「不適合」が無かったものの、「指導事項」が2～3割を占めていました。それらの「指導事項」を、各該当部門にて改善を実施していった結果、直近の内部環境監査では、全ての部門でほぼ「適合」という判定結果を得ることが出来ました。

代表者による全体評価と見直し

環境負荷5項目の削減実績は、活動開始5年目で中長期計画6年分の目標値以上の成果を達成しましたが、これは全従業員が環境方針に則って粛々と活動した結果であり、方針が正しかったことの証しであるが故に、環境方針は今のまま継続します。

また上述の通り、環境負荷5項目の削減において目標値をかなり上回る良い結果が得られましたのは、全従業員が各自の役割をよく理解し、構築した環境マネジメントシステムを運用し、維持し、環境への取り組みを積極的に行なって来たからであります。

故に今年度も中長期の目標値は従来通りとし、全従業員の地球環境保全への意識を向上させて行くことに重点を置き、持続可能な社会の実現に向けて、地道な活動を継続して参ります。